

第58代 理事長予定者決定



ご挨拶

一般社団法人津山青年会議所
第58代理事長
予定者

河原 淳

2014年7月17日(金)の臨時総会において、2015年度一般社団法人津山青年会議所第58代理事長候補者から予定者として承認を頂戴いたしました河原淳と申します。連綿と築かれてきた57年間の歴史、伝統、地域からの信頼を引き継ぐ者として、この上ない名誉ある立場を賜ると同時に、その職責の重さ、大きさに今までにない緊張と高揚を覚える次第であります。

私は2002年に、地域住民、行政、地元企業や他団体からの信頼厚く、定評の高い名門である津山青年会議所に入会を許されました。2005年に初の理事・委員長と言う重責を担わせていただき、その後も規模や場所を選ばず、進取果敢にあらゆる方面に自身のかじ取りを行い、様々な経験をさせていただきました。手を引いていただいた、また、背中を押していただいた諸先輩方や現役の皆様には感謝の言葉だけではとうてい足りないほどの恩恵を与えていただきました。本当にありがとうございます。その中で得られた貴重な繋がりや、経験を場所や機会を見極め、随所に活かすことで反映させていきたいと存じます。

まちを彩る、まちを動かしているのは言うまでもなくひとであります。そのひとの原動力となる『夢』を本年の運動・活動の基軸として、さらに能動的な動きへの大切な位置づけにしたスローガン『夢は叶う共に歩もう』のもと、明るい豊かな地域社会創造に向けた事業の計画、実施、運動の推進、他団体、会議体への出向や参画を展開いたしました。その中で純粋に継承していかなければならないことや、今一度事業や運動そのものに対して紐解き、創始の想いや目的が活かされているかどうかの検討段階にあるもの、まちのひとたちに昇華され、青年会議所の手から離れつつあるもの、様々な形で変化、変容を遂げてきている時代に向け、まさしく次世代を見据えたまちづくり、ひとづくりが求められていると感じさせられました。津山青年会議所が今日までの運動や活動により積み上げてきた目的意識や問題意識、問題提起を含めた本質を見つめ、真理を希求するという崇高なる姿勢と精神性を引継ぎ、帯を締め直し、突き進んでいかなければならないと考えます。

中国山地を脊梁として多くの森林面積を誇り、まちの中心には一級河川である吉井川の流れがあり、古くから岡山県北部の拠点として、美作国津山藩の城下町、さらには出雲街道の宿場町として栄え、比較的自然災害の少ない、気候風土に恵まれたひとと自然とが融和・融合された素晴らしい地域です。その風土・風習により多くの偉人を輩出し、歴史と文化が色濃く顕在するまちです。そうした特色を起爆剤として、多くのひとを巻き込み、まちの活性化を図り、郷土愛を醸成し育むことが、明るい豊かな地域づくりに向けては不可欠であります。市民、各種団体、企業や行政がつながりを深められる、共通の目的意識や問題意識を共有すること、さらに問題の解決や目的を相互理解の上で共に行っていくことがより強固なつやまを築き上げることになり、誰もが住み・暮らしていて心地の良い活気に満ちた、明るく元気なまちづくり運動・活動につながってまいります。

組織の会員拡大が大号令として昨今の各地の青年会議所では叫ばれております。津山青年会議所も例外ではなく、本年から3年もたないうちに今いるメンバーが3分の1以上卒業してしまうという現状です。会員の減少は、今後の運動や活動を展開していく中で大きな問題としてのしかかってきます。明るい豊かな地域社会の実現には、同じ志を持ち、地域への愛着を持った仲間が不可欠です。ただやみくもに多くのひとを会員として招くのではなく、ひととしての中身も吟味し、つながりを深め、真に地域に貢献できる人財でなければ意味がありません。先達が築いてきたまちづくり・ひとづくりの王道を歩む、踏破するうえで、より洗練された郷土愛と向上心を兼ね備えた人財の育成が必要となってきます。

本年の宮古島市姉妹縁組提携50周年をきっかけ、契機としてつやまはどのようなつながりや経緯があり、今日までに形成されてきたのか、本当に求められるまちづくり・ひとづくりは何であるかということから着目し、津山青年会議所としての道筋を作る必要があります。そのためには根柢となるまちの声に耳を傾け、行政とのつながりも深化させ、地元企業やまちを形作っている環境を今一度調査・研究し、今までに築いてきた活動や運動を進化させ、「この道を歩む」と言う堂々たる姿勢で、気概と覚悟に満ちた愛と誠の情念を持って活躍ができる組織作りに従事し、実直に真っ直ぐな態度で全身全霊を持って理事長の職務を全うさせていただき所存でございます。今後ともご指導とご鞭撻と、いつもいただいております温もりのあるご支援、ご協力を引き続き賜りますよう合わせてお願いを申し上げます。

一般社団法人津山青年会議所 2015年度 第58代理事長予定者プロフィール

- 氏名 / 河原 淳 (カワハラ ジュン)
- 生年月日 / 1975年12月3日生
- 出身校 / 岡山理科大学専門校
- 推薦者 / 守屋先輩、角上先輩
- 勤務先 / 株式会社廃棄物センター 代表取締役社長

主なJC歴

- 2002年度 入会
会員開発委員会 委員
音楽祭プロジェクト 委員
- 2003年度 広域まちづくり推進委員会 幹事
第23回全国城下町シンポジウム津山大会実行委員会 委員
- 2004年度 心の教育推進委員会 副委員長
- 2005年度 心の教育推進委員会 委員長
- 2006年度 会員開発委員会 委員
日本JC循環型社会創造委員会 運営幹事
- 2007年度 ひとづくり推進室 副室長
津山市民憲章推進協議会 事務局員
- 2008年度 指導力開発委員会 委員長
津山市民憲章推進協議会 事務局員
- 2009年度 地域経済活性化委員会 委員
- 2010年度 ひとづくり室 室長
- 2011年度 まつりプロジェクト キャプテン
津山市民憲章推進協議会 事務局員
- 2012年度 専務理事
- 2013年度 副理事長
中国地区コンファレンス実行委員会 実行委員長
- 2014年度 副理事長
中国地区協議会 主権国家確立委員会 委員長